



## 大学院医学研究院 滝口裕一教授の最終講義が行われました

令和6年3月をもって退職される大学院医学研究院 滝口裕一教授（臨床腫瘍学）の最終講義が、2月9日（金）に医学部附属病院ガーネットホールにて行われました。当日は本学の教職員・学生、学外から多くの来場者が聴講しました。

滝口教授は昭和58年に千葉大学医学部を卒業後、千葉大学医学部呼吸器内科に入局、国立がんセンター一等での勤務を経て、平成22年に千葉大学医学部の教職に御昇任され、腫瘍内科学の研究活動・発展に大きくご貢献されました。

最終講義は、三木医学研究院長からのご挨拶、続いて横手附属病院長からご挨拶の後、演題『腫瘍内科学の黎明から発展を目指して』についてお話しされました。

講義終了後は、大学院生や多くの関係者からの謝辞と花束が贈呈されました。

滝口教授の益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。

